

## 平成 28 年度 第 1 回長野市社会福祉審議会児童福祉専門分科会 議事要旨

○開催日時 平成 28 年 6 月 2 日(木)午後 3 時 30 分から午後 5 時まで

○場 所 講堂(市役所第二庁舎 10 階)

○出席委員 分科会委員 15 人が出席した。

寺沢 さゆり 市議会議員

熊谷 哲郎 長野市小学校長会副会長

塚田 まゆり 教育委員

(会 長) 水口 崇 信州大学教育学部准教授

(副会長) 玉川 吉彦 長野市民生児童委員協議会 児童・母子(父子)福祉部会  
部会長

黒柳 博仁 長野市幼稚園・認定こども園連盟会長

峰川 暁見 長野市私立保育協会会長

小林 功 長野市放課後子ども総合プラン館長・施設長会会長

宮尾 聡 (財)長野県児童福祉施設連盟 園長

古谷 幸子 長野市公立保育園園長会 象山保育園保護者会長

雨宮 幸美 長野市幼稚園・認定こども園連盟 若草幼稚園保護者会長

北原 千織 長野市私立保育協会 芹田東部保育園保護者会会長

柄澤 礼子 公募委員

小林 美智子 公募委員

野村 健一郎 公募委員

○欠席委員 分科会委員 1 人が欠席した。

金山 美和子 長野県短期大学講師

○出席事務局 29 人

○傍聴者 2 人

○報道機関 3 社

発言者	内 容
事務局	<p>1 開会</p> <p>※分科会として成立していることを報告</p> <p>※公開であることを確認</p>
会 長 事務局	<p>2 あいさつ</p> <p>※分科会会長あいさつ</p> <p>※こども未来部長あいさつ</p>
事務局	<p>3 委員紹介</p> <p>※千野委員の後任となる熊谷委員、小林委員の後任となる黒柳委員、小池委員の後任となる小林委員、和田委員の後任となる宮尾委員、小松委員の後任となる古谷委員、吉澤委員の後任となる雨宮委員及び金子委員の後任となる北原委員の紹介</p>
事務局	<p>4 事務局職員自己紹介（本年度から出席する者）</p> <p>※事前配布資料及び当日配布資料の確認</p>
事務局	<p>5 議事</p> <p>※資料1に基づき、長野市子ども・子育て支援事業計画の進捗管理について説明</p> <p>《各委員からの質問・意見》</p>
委員	<p>事業計画について、数で示す評価は分かりやすい。定性的な評価で出す場合、事業内容が書いてあるとよく分かるが、ファミリーサポートセンター等分かりにくいものがたくさんある。市民の皆さんはどこまで分かるか。事業計画の中で養育支援訪問事業というのがある。支援の必要な家庭に保健師が訪問する事業だが、長野市の場合、対象はどういう人なのかということの説明を点検評価の資料の中で触れてもらうと市民の皆さんも分かりやすいと考えるので検討をお願いしたい。</p>
事務局	<p>分かりやすい作り方に心掛けていく。</p>
事務局	<p>※資料2に基づき、放課後子ども総合プランの利用者負担について説明</p> <p>《各委員からの質問・意見》</p>
委員	<p>現状ではどんな課題があってそれによってどんな対応をしているのかがよく分からないので資料を、作って頂きたい。平成20年から施設によって対応が変わってきているものがある。例えばおやつを出す施</p>

事務局	<p>設、出さないようになった施設があったり、登録児童の数で支援員を付けているのか等、その辺の現状がこの資料ではよく分からない部分がたくさんあるので詳細な資料を出して欲しい。</p> <p>次回から本格的な議論をいただくところであるが、それに当たっても現状を説明していかないと議論ができないので、十分情報を提供していきたい。</p>
委員	<p>来入児へのアンケートの中で、「利用を予定していますか」の設問に対して「利用していない」という選択項目があるが、「利用しない」とか「利用の予定はない」とした方がよいのでは。</p>
事務局	<p>修正する。</p>
委員	<p>来入児のアンケートは、保育園だけで、幼稚園あるいは保育園や幼稚園等に行っていない子どもの保護者に対しては、実施しないということか。</p>
事務局	<p>保育園に通うお子さんということであれば、小学校に上がったあと、おそらく留守家庭児童ということで、子どもプランを使う可能性が極めて高いと考えている。幼稚園まで広げてしまうと事務量等の事もあり、できれば保育園の731人でお願いしたい。</p>
委員	<p>アンケート対象について来入児対象は公立保育園の年長が対象ということだが、東北ブロックは後町保育園2人ということ、ほぼこの地区の要望が黙殺されるに等しい人数かと思う。公立保育園ということだが、中御所、川中島、こどもの園、豊野南については、今年度引き継ぎ保育中ということで、半分公立半分民間ということである。地域的なバラツキが大きすぎると思う。何とかならないか。</p>
事務局	<p>アンケートの中では、どこにお住まいかどこに通われているかといった項目は設定していない。地域的に配慮、事情も考えていない。</p>
委員	<p>東北地区の来入児の意見は必要ないということなのか。</p>
事務局	<p>必要ないということではない。無作為抽出で行えばいいが事務的に学校、公立保育園を通してアンケートをお願いするということで、ある程度地域バランスは取るが、どこの学校がどうなるとかそういう目的で行ってはいない。長野市全体として約20,000人いる中の5,000件を選ぶことで、大体の傾向をつかむことができると考え、ある程度の学校を抽出したということである。本当は20,000人全員にアンケートを行えば間違いはないが、事務的にできないところもあり、前回と同様に5,000件を超える数を作りたいという中で、ある程度のバランスを考えた。前は小学生を対象としたが、これから入学する子ども達についても入れた方がいいのではないかということで年長を選んだと</p>

委員	<p>いう状況である。抽出方法はいろいろあると思うが、学校、地域の声を聞くというよりは、長野市全体の傾向をつかみたいということでこの抽出方法になった。</p> <p>幼稚園の方はどうか。審議会の中で1年生の利用率は6割程度ということを知った。当然利用予定の人もいると思うが。</p>
委員	<p>幼稚園連盟・認定こども園の方では、幼稚園から何人の利用があるかは把握していない。</p>
会長	<p>東北ブロックの傾向に特徴があるのか。他のブロックと傾向の違いはどうか。勘案することもある。</p>
委員	<p>個別の話をするとうれしが付かなくなる。事務局のいいたいことも理解できるが、「数字であからさまになってしまうのが」ということである。</p>
事務局	<p>ブロック別に分けて集計をすることは考えていない。来入児の意向はどうなのかといった形で資料を提供していくと考えている。名前等の記入の必要もない。2人だから誰かわかるということはない。特定をしないようなかたちでやっていければと考えている。公立保育園は昔からということもあり、民間の保育園が出て行けなかったことが存在し、このような経過になったのかと考える。731人の傾向を判断していきたい。</p>
委員	<p>アンケートの実施概要（案）の中で、対象者のところに幅広く意見を聞くために小学生の保護者（利用の有無は問わない）と書かれているが、小学生全員に門戸が開かれた放課後子ども総合プランであるから、幅広く意見を聞くのは大事な事と思う。しかしそれとともに思うのは、利用している人にとって料金が無料から有料になるというのは重要なことだと思う。利用回数の多い人の意見はどうなのか。市内全部の学校にこの活動が広がり、そして費用も掛かり、支援員も増えていくという現状を利用している人に説明をしながら市の考えを話していったらどうか。利用しない人に聞くことも大事だが利用者にとっては身につまされることなので、無料から有料になるということだけでなく、子どもプラザや児童センターにどのような思いを持っているのか聞く必要があるのでは。</p>
事務局	<p>今回のアンケートは、利用していない人も含めることでお願いしたい。前回のアンケートでは利用している人だけで行い、委員から不公平という意見があり、利用していない人にも聞くようにとのこと。また税負担の公平性という観点もあり、今回は利用していない人も対象とした。では5,000人のうちどのくらいの人利用しているのか。5,057人のうち登録児童が2,405人、48%人が登録をしている。五分五分の</p>

<p>委員</p>	<p>感触である。来入児の抽出園児数 731 人の 8 割方が利用するのではと考えているので二つを合算すると利用者、利用予定者の声も聞けるかと考えている。</p> <p>登録児童数は、あくまでも登録児童数であって、実際に登録してはいるが利用しない人もいる。そこしか行くところがないという子どももいる。設問の中で「有料になったらやめますか」とあるが、有料になっても利用するしかないという人もいると思う。切実に捉える利用者は、市の意見をどのように受け止めるか、利用回数の多い人の意見も聞く必要があるのではと考える。</p>
<p>事務局</p>	<p>利用を多くしている人を抽出するということは、無作為で抽出したいということに逆行する。有料化が決まっているわけではない中で有料化をすることで利用できなくなってしまうという部分では、おそらく経済的な部分がある。経済的な事情がある場合は、減免をしていくかどうか、また減免の割合をどうするかについて委員の皆さんにお願いしたい。現在延長利用料も頂いている。その人たちにも経済的な事情ということで減免対応をしている。</p>
<p>委員</p>	<p>財源も遠のいている状況で先のことが不安。有料化もやむを得ないのでと考えている。前回のアンケートでは、やむを得ない、ある程度負担してもいいという意見が 70% だった。今回それをまっさらにして有料化、無料化を問うのであれば 70%、50% を割ったときは有料化はまだ決まっていないということなのか。有料化は、やむを得ないのであれば前回のアンケートを継続して有料化の方向でアンケートをするのがいいのではと思う。今回のアンケートで無料がいいという意見が何% だったら有料化しないというのはあるのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>少子化が進行し、国の対策も喫緊の課題になっている。子育ての社会化が進み、市民の意識も変化をしている。前回のアンケートをそのまま使うのは乱暴なのかと思う。まして有料化をお願いするのであれば最新の意識を大事にしていくということで、改めてアンケートを実施したいと考えている。どのくらいなら有料無料にするのかはこちらで決めてしまうと議論の妨げになってしまうかと考えるので設定は控えたい。</p>
<p>委員 事務局</p>	<p>アンケート次第ということと捉える。</p> <p>前回、平成 21 年度は利用者にアンケートを行った。平成 21 年度は児童館、児童センターが中心で、留守家庭で居場所を必要とする人たちが中心だった。子どもプラザも 14 か所しかない時で、今は子どもプラザも増え、希望する人も利用できるようになってきた。今は利用していないが来年は利用しようかと考えている人も想定する。希望すれ</p>

	<p>ば入れる時代になってきたときにこれから利用する人にもアンケートを取る必要があるのではないかと考え、今回は対象を広げた。</p>
委員	<p>アンケートの問いの中で、「クリスマスやお楽しみ会などの充実」とあるが、「クリスマスや」というのは無くてもいいのでは。</p>
事務局	<p>季節のイベントのイメージで入れたが、こだわる必要がないので修正する。</p>
委員	<p>有料化になった場合について、54 施設の設備、広さ、子どもの人数などに大きな差があるということを保護者がどういふふうに見るかが一つの観点。負担額の 1,000 円未満から 5,000 円はどこから出た数字なのか。私たちのところはおやつ代として月に 2,000 円徴収している。2,000 円のうち約 700 円くらいは教材費等に使っている。市からの補助はあるが、不足した時にここから使っている。1,000 円未満から 5,000 円はどこから出たのか根拠が知りたい。施設によって大きな差がありその辺の対応もどうしていいか気になる。</p>
事務局	<p>額については、1,000 円きざみにした。問題になるのは 5,000 円以上のところ。5,000 円以上までは適当と考える。他市では 1 万円というところもあるがそこまでは必要はないと考えている。施設の広い狭いはアンケートの中で反映していくのは困難だと考えている。</p>
委員	<p>アンケートの設問で「利用していますか」という問いで、どの程度利用しているかを入れた方が審議する上でも必要では。利用状況によって考えも変わってくると思うのでアンケートに入れることはできないか。これから利用する人は延長利用料やおやつ代がどのくらい掛かるか分からない。延長するといくら掛かる、通常料金はいくら掛かるといったトータルの金額で考えられると思うのでその辺の資料があった方が答えやすいのでは。</p>
事務局	<p>限られた紙面の中では難しいところもあるが、利用状況は必要かと思う。検討する。ただ、利用状況についてもさまざまな場合があるので難しい面もある。延長料金 1 時間（最大 1 時間）月額 700 円でお願いをしている。施設によって違う。「延長利用料をいただいています」と注釈を入れていく。おやつ代については、頂いている施設と頂いていない施設がある。低学年の多い児童センターは 8 割頂いている。子どもプラザは高学年が多いので 5 割。金額も幅広いのでひとくくりで考えるのは難しい。「おやつ代などの実費負担を除きます。」と注釈を入れるなど分かりやすく工夫をしていく。</p>
委員	<p>前回の答申では、半額程度と答申があったようだが、前回の答申にしばらくは。アンケートの内容で 50%以上の人が 1,000 円未満が</p>

事務局	<p>いいとなった場合、審議会ではどうしたらいいか。</p>
事務局	<p>前回の答申にしばられることはないが、情報はこちらから提示するので参考にさせていただければと考える。長野市の行政改革大綱に一定の負担割合が示されていることから、それを参酌していく必要はあるのかと考える。いきなり適用すると急激な負担増という形になると思うので、どこから始めるかという議論も出てくるのかと思う。</p>
事務局	<p>※資料3に基づき、長野市の保育所等利用者負担額について説明 《各委員からの質問・意見》 (特になし)</p>
事務局	<p>※資料4に基づき、小規模保育事業及び事業所内保育事業の認可等について説明 《各委員からの質問・意見》</p>
委員	<p>両施設とも高齢者施設との併設ということで、高齢者との交流を目的としているので良いと思う。おはなし屋保育園についてはこれから保育士を雇うということだが、公立保育園、私立保育園は保育士の研修に力を入れていることと思う。研修に参加していく中で、質の高い保育ができるように指導や支援をしていただくように思う。</p>
会長	<p>事務局は認可等にあたっては意見を踏まえてご留意頂きたい。</p>
事務局	<p>※資料5に基づき、長野市の結婚支援事業について報告 《各委員からの質問・意見》</p>
委員	<p>支援制度の情報発信ということだが、教育や子育てにお金が掛かるという懸念がある。支援制度のポジションができたので、市の政策をうまくまとめるとともにこのポジションから子育てに対する提言をしっかりとやってほしい。</p>
事務局	<p>大事な事と考えている。しっかりと取り組んでいく。</p>
事務局	<p>※その他について</p>
事務局	<p>皐月保育園の移転について報告 《各委員からの質問・意見》 (特になし)</p>
事務局	<p>5 その他 ※第2回長野市社会福祉審議会児童福祉専門分科会の開催が8月24日(水)になる予定であることを連絡</p>
	<p>6 閉会 <span style="float: right;">以上</span></p>